

講演会の感想

- ・人材支援センター、離島・へき地医療支援センターの活動は非常に重要です。今後も更なる活躍を期待します。よろしく願います。医療側と患者の協働、すごく参考になる話でした。地域医療の原点を理解できました。ありがとうございます。
- ・協働、人間対人間、相手の良いところを引き出すコミュニケーションは、患者さんだけではなく医療者にも必要なことだと思った。大変良いお話をありがとうございました。
- ・医療者側も患者理解に努力しないといけないと思った。
- ・大変よかったです。
- ・山口先生の講話は分かりやすくよかったです。
- ・とても分かりやすかったです。家族に伝え患者さんにも伝えていきたいと思います。
- ・自身、家族の受診に役立てたいと思います。ありがとうございました。
- ・山口先生の話をもっと聞いてよかったです。
- ・高山先生の説明も簡潔で分かりやすく、山口先生のお話もとても分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・大変よかったです。いい話でした。
- ・患者の立場になっての話だったので、とても分かりやすかった。コミュニケーションが大事だということが、とても分かりました。
- ・分かりやすくよかったです。前向きに生きていきます。
- ・今日は良いお話をお聞かせ頂きありがとうございました。
山口先生の講演はうなづく事が多く、今後の参考にしたいです。患者サイドだけでなく、医療サイドも聞く姿勢を見せて欲しいです。
- ・病気になったら賢い患者になろうと思います。
- ・とても楽しい分りやすい講演をありがとうございました。
- ・5年前、お聞きしたのですが、ますます歯切れよく内容も充実し、とても参考になりました。
- ・歯切れの良い話し方でとても分かりやすいお話でした。10ヶ条、忘れずに診察を受けたいと思います。患者の立場で・・・と思いがちですが、私達も協働の気持ちで向かいたいと思います。ありがとうございました。
- ・患者の立場、医療者の立場として、とても勉強になりました。
- ・多くの住民の方々が参加され医療について考える機会がよかった。子供でも自分で症状を伝える大切さを思った。ポジティブフィードバックも必要。
- ・住民と医療者との協働について、住民側ばかりでなく医療者も協力について十分な理解をする必要があるのでは。ややもすると協働については住民に押しつけ、医療者側の責任逃れになりかねないと思います。

- ・幼年期の教育がとても大事だと感じた。
- ・賢い患者になるということが非常にためになった。
- ・とてもよかったです。医療について、なるほどなあ〜と考えさせられる事が多々あり勉強になりました。
- ・医療の現状と賢い患者としての認識、理解が得られた。
- ・賢い患者になるためにはどうすべきか、患者さんに対してどう対応すべきか、考えさせられました。ありがとうございました。
- ・コミュニケーション方法が具体的で分かりやすかったです。
- ・自分にとって、家族の為に。これからの医療と健康と生活にとって。素晴らしいお話をありがとうございました。
- ・素晴らしい講演でした。
- ・コミュニケーションで自分が変われば先生に伝わると思いました。努力します。山口先生、ありがとうございました。
- ・今回の講演で賢い患者になりたいと思いました。私も外来受診する時には、メモを取るようになっています。素晴らしい講演ありがとうございました。
- ・分かりやすくてよかったです。
- ・今後もこのような講演会を年に1回でいいから続けていただきたい。
- ・患者、家族のあるべき姿勢が整理できてスッキリしました。日頃のコミュニケーションで腕を磨くべし！です。
- ・理解しやすい話し方、口調でとてもよかったです。
- ・山口先生のお話はおもしろく、時間があっという間に過ぎました。
- ・患者の立場で医療者と協働することの重要性について認識を強くしました。
- ・山口育子先生の内容がとても聞き取りやすく、分かりやすく、とても勉強になりました。2ヶ月に1度、通院している身なので必ずメモを取り医師に伝え、自分の身体は自分で守りたいと痛感しました。
意識を高めることの大切さ、本当に大事なことです。周りにも伝えたいです。高山先生の話では長崎の現状が分かりよかったです。本日はありがとうございました。
- ・とても分かりやすい講演でした。ありがとうございました。
- ・医師および患者側も協働できるようにしていきたい。コミュニケーションが大切だという事を再確認しました。
- ・山口先生の講演を聞いて、医療に関する考えが変わった。
- ・患者の立場で考えることが出来てよかった。
- ・診療時、ドクターとのコミュニケーションがいかに大切かが分かりました。コミュニケーションにより適切な治療が受けられると思いました。
- ・医療関係者にとっては、言いたい事を講演していただいたようです。また、医療関係として患者さんの手助けになればと思います。

- ・山口先生の声がステキでした。また住民の立場から医療に対する意識の持ち方のあり方を改めて確認させられた。コミュニケーションは大切なことだと思った。
- ・大変勉強になりました。他人事でなく自分の事としてこれから考えていきたいと思えます。
- ・患者と医師との協働の意味が分かりました。離島であれ地域であれ、とにかく病気に対応できる病院が、近くにあることが必要と思う。賢い患者になるということは難しい。医療を理解して参加し、協働できる、意見の言える市民！2040年は高齢者のピークです・・・。
- ・現実的で多くの人々が理解しやすい話です。止まっている人を前に進めさせる話し方は素晴らしいと思います。次回はもう少し詳細な部分に触れてください。
- ・伝えることの大切さ。本日の講演ありがとうございました。
- ・分かりやすく目からウロコの講演だった。多くの患者、市民に聴かせてやりたかった。
- ・良い講演会でした。どちらかというと医療側の立場に立った講演が多い中で、患者側からの立場で医療側との協働を伝えることはとても大切だと思います。
- ・素晴らしかった。賢い患者になるように10ヶ条を自分なりにメモしてノートを作って生活したいものです。
- ・医療関係の仕事をしており、自分自身も患者の立場に立っていますが、医師の説明は丁寧にされていますが、なかなか。。自分で質問することはあまりないですね。メモを取っていく事はいいことですね。勉強になりました。ありがとうございました。「賢い患者の10ヶ条」「子どもの10ヶ条」憶えます。
- ・当たり前のことを改めて講義を受けたことで、今後の医療現場で実践していきたいと思えます。
- ・具体的な取り組みが分かりました。コミュニケーションが大切だと再認識しました。
- ・医療者との相方向のコミュニケーションの大切さとそれが自分の為になっていくことが理解できました。
- ・医療関係者として、患者様との関わり方について見直す機会になりました。
- ・医療者側としても今後、患者支援していきたいと思えます。賢い患者さんになれるよう医療者側としても支援していきたいと思えます。
- ・以前より病気を治すのは、医師の仕事ではなく患者本人の為すべき事だと思っていました。”賢い患者”が増えるといいなあと思えます。
- ・例や根拠をあげて分かりやすく説明していただきありがとうございました。小さい子供がいる立場ですので、子供の頃から賢い患者になるには、どうすればいいのか疑問でしたが、よいお話が聞けました。平戸、楽しんで帰ってください。そしてまた来てください。
- ・「質問・確認をする」「メモをする」など患者の意識が変わってきていると知ることができた。
- ・分かりやすかった。特に山口さんの話の中に込められた迫力があつた。
- ・賢い患者になるために見直すことを感じた。

- 山口理事長と共感するところがたくさんあり勉強になった。個人（患者）の医師への向き合い方を聞いたが、地域としての話もお聞きしたい。
- 協働＝医者と患者のコミュニケーション。良い言葉であり、大切な事だと思います。
- 小学一年生でも自分で言わせる。やはりそうだ！と思いました。山口さんの実体験の講話が一番よかった。
- 定期的に生月での講演会を主催してもらいたい。